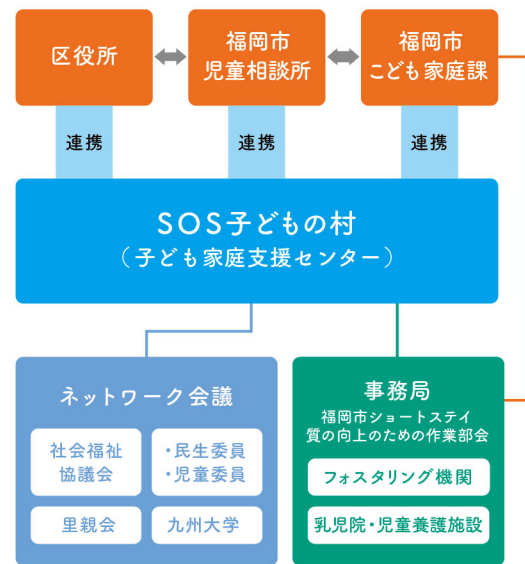
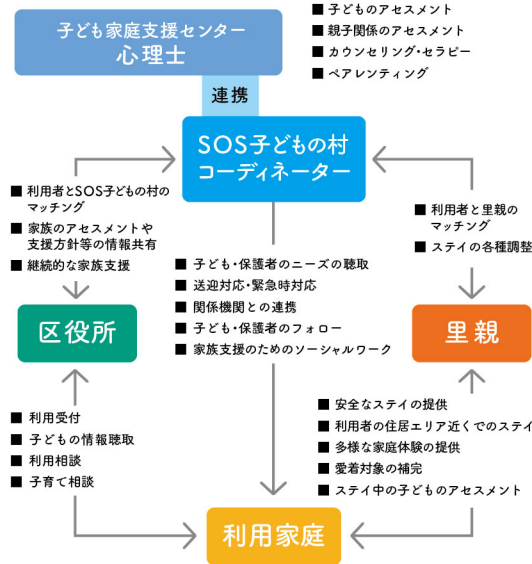


「里親ショートステイ」のサービスデザイン

■ 事業連携体制



■ ショートステイ実施体制



■ 「里親ショートステイ全国ネットワーク会議」

オンラインで全国の自治体・関係機関から約100名が参加しました。事業実施に関する具体的な質問が多く「里親ショートステイ」事業推進に対する関心の高さが伺えました。この会議はテレビ・新聞報道等もされ広く市民に知ってもらう機会となりました。



【取り組み発表】(沖縄)北谷町子ども家庭課 / (岐阜)子ども家庭支援センターぎふ「はこぶね」 / (福岡)子ども家庭支援センター「SOS子どもの村」

■ みんなで里親プロジェクトのこれから

- ① 子育ての早期支援として「里親ショートステイ」の利用を推進します。
- ② 要支援家庭や家庭復帰後の虐待予防・再発防止として「里親ショートステイ」を活かします。
- ③ 子どもや保護者への専門的なアセスメントが必要な時には子ども家庭支援センターの臨床心理士・公認心理師が連携します。
- ④ 多子家庭や配慮を要する子どもの受入れについて、子どもの村福岡や施設ショートステイとの連携を強化します。
- ⑤ 既存の里親さんや専門職の里親さんの登録を推進し、多様なニーズに応じることができる「里親ショートステイ」をめざします。

発行者：認定NPO法人 SOS子どもの村 JAPAN 所在地：〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-3-14 ブランシェ赤坂2階
TEL：092-737-8664 FAX：092-737-8665 MAIL：foster.west@sosjapan.org



みんなで里親 検索



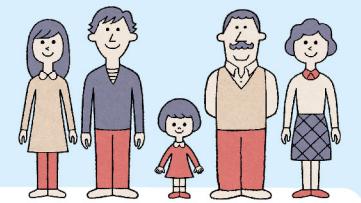
HPから
情報発信中!

みんなで里親 2022年度レポート

ふくおか project

発行年月：2023年3月

発行者：認定NPO法人SOS子どもの村JAPAN



■ みんなで里親プロジェクト～福岡市全区に広がった一年～

2014年に西区でスタートした校区里親(短期里親)開拓事業が、2016年に「みんなで里親プロジェクト」へと名称を変え、2022年度は、全区で里親ショートステイ事業を展開することになりました。今年度は、子育て支援団体などと連携した広報活動も積極的に行い、着実に「ショートステイ里親」の数も増えてきています。しかし、利用依頼も急増し、里親の数はまだまだ不足しています。支援を必要とする家族のために、里親ショートステイを円滑に運用するためのハードルを一つひとつ超えていった一年でした。

■ みんなで里親プロジェクトって？

福岡市における官民協働のネットワークを活かし、

- ① みんなで里親を理解する
- ② みんなで里親のなり手を増やす
- ③ みんなで里親養育のチームになり

親子を支えることができる地域づくりをめざします。



5つの取り組み

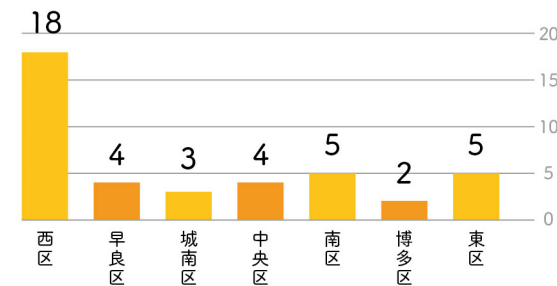
- ① 「里親ショートステイ」の実施… 利用者とのマッチング、各種調整、里親/利用者の支援
- ② 里親リクルート… 養育里親、ショートステイ里親の新規開拓とリテンション
- ③ 里親の普及啓発… チラシ、ミニカード、WEBサイトの作成、ネットワーク構築など
- ④ 里親の支援… 研修、ピアサポートの仕組みづくりなど
- ⑤ 「里親ショートステイ」のサービスデザイン… 制度設計、体制整備、他施設との協働、普及啓発

■ 「里親ショートステイ」の実施

4年間の実績の推移 (2019年度～2022年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
ショートステイ里親登録数 (累計)	6世帯	11世帯	23世帯	40世帯
里親ショートステイ実施件数 (利用のべ日数)	3家庭 のべ6件 (67日)	7家庭 のべ13件 (102日)	25家庭 のべ82件 (501日)	63家庭 のべ176件 (858日)

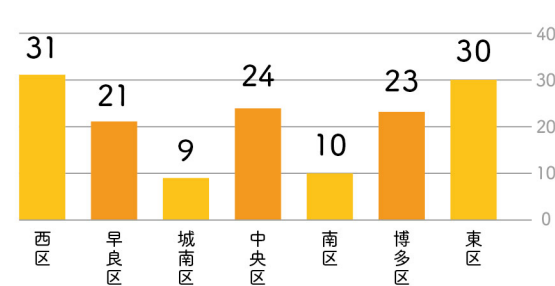
2022年度の実績（2022年2月時点）

区ごとの「ショートステイ里親」登録数（数）

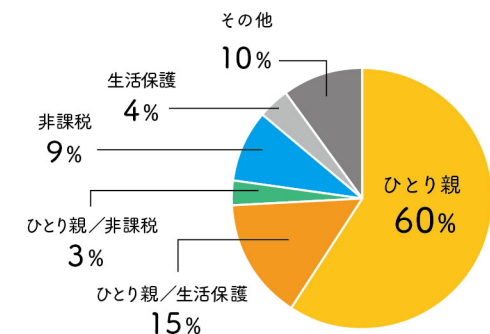


「ショートステイ里親」の登録はこれまで取り組んできた西区が最も多いですが、全区に広がってきました。しかし、人口の多い東区や転入出が多い博多区はショートステイの利用ニーズも高く、里親はまだ足りていません。

区ごとの「里親ショートステイ」実施件数（件）

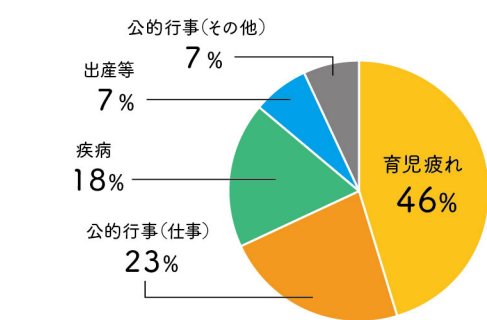


利用家庭の状況（%）



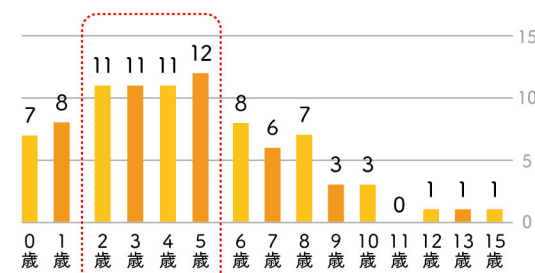
75%がひとり親世帯であり、経済的に厳しいご家庭の利用が多いです。

「里親ショートステイ」の利用理由（%）



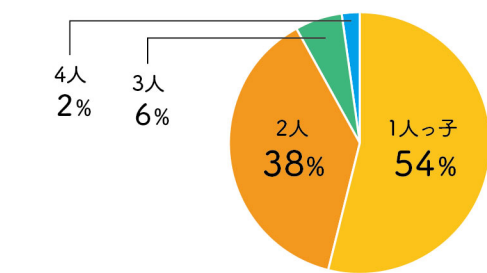
育児疲れが約半数を占めています。公的行事を理由に利用しているご家庭の中には、ひとり親家庭でダブルワークなどをしながら育児に奮闘されているご家庭もあります。

利用した子どもの年齢（人）



未就学児の利用が多いものの、思春期に入ると子どもの利用も少しずつ増えてきました。親と距離を取りたいという子どものニーズもあるようです。

利用した子どものきょうだい状況（%）



きょうだい児の預かりが半数近くにのびます。しかし、3人以上のきょうだい児の預かりができる里親は限られており、多子家庭を支えることができる里親の確保が課題です。

里親リクルート／里親の普及啓発

■ 対象に応じて、イベントの開催

子育て支援に関心がある方		里親に関心がある方	養育里親の方
里親ミニ講座 (ファミサポ)	福岡みんなで 子育てカイギ	里親って?カフェ (個別相談も含む)	お話し会 「ショートステイ里親って、何?」

その他、オンライントークイベント・福岡テンジン大学授業・ファミサポ交流会・西区園長会、校長会でのお話なども含め、全部で約280名の方に、里親制度や里親による「子どもショートステイ」について直接お話することができました。



手に取りやすいサイズのミニカード
その他、チラシ・Facebook・HP・公式LINEで広報しています。

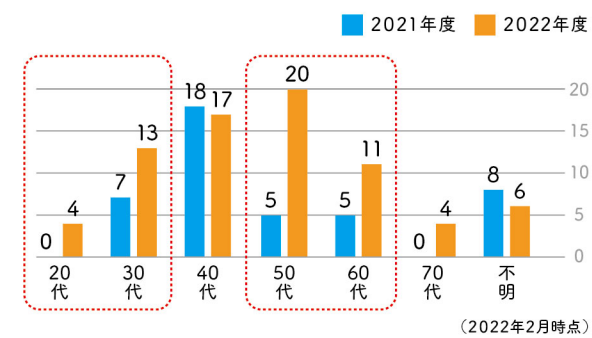
〈イベント等でご協力いただいた組織・団体の皆さま〉
ファミリー・サポート・センター／福岡テンジン大学／ALBUS／福岡おもちゃ美術館／バンビの木箱

■ 毎月開催の「里親って?カフェ」について

「里親って?カフェ」・個別相談参加者の年代(人)

〈参加人数〉

2021年度: 43名 / 2022年度: 84名



2022年度は、前年度に比べ、参加者が大きく増加しました。その理由として、西区だけでなく全区に広報展開したこと(特にファミサポ会報誌・市政だより)やHPやSNSなどを定期的に更新したことも理由として考えられます。

2022年度の参加者のうち25世帯が「里親基礎研修」等に進んでいます。

里親の支援



ショートステイ里親研修・交流会（年2回）

「子どもの安心を大切にするショートステイ。こんなときどうする?」をテーマに、グループに分かれて、困っていること、モヤモヤしていることを話し合い、それぞれの里親さんが工夫していることなど共有しました。里親さん同士で助け合うピアサポートの場になっています。